

**日本兵のＰＴＳＤ**

**2022/4/30**

**参加者の**

**感　想**

**第１７７回(2022年5月)例会 参加費300円**

**９条の危機－いま憲法審査会で何が起きているか　　　ウクライナ侵攻と憲法９条**

**お話：大江　京子弁護士**

**弁護士、改憲問題対策法律家６団体連絡会事務局長**

**日時:５月２１日(土)13:30～**

**場所：教育会館201･202**

**第１７８回（６月）例会　　 参加費300円**

**たづくりまつり参加･沖縄返還50年**

**展示：軍事化する南西諸島**

**10日～12日･たづくり南ギャラリー**

**DVD｢若きハルサーたちの唄｣上映とお話**

**お話：湯本　雅典さん ビデオジャーナリスト**

**日時:６月１１日(土)14:30～17:00**

**場所:たづくり10階1002学習室**

**第１７９回（７月）例会　　 参加費300円**

**ウクライナ問題 　停戦・国連・ＮＡＴＯ・ウクライナの内戦・西側メディア・日本とアジアの軍事化など**

**お話：笹本 潤さん**

**弁護士、「憲法ひろば｣世話人**

**日時:７月１７日(日)13:30～**

**場所:たづくり10階1002学習室**

**第６回 調布美術のひろば**

会場：たづくり２階「北ギャラリー」

　　 日時：８月１７日（水）13:00開場

　　　　　 　～２１日（日）16:00閉場

 **憲法ひろばにゅーす200号発行記念出版のご案内**

**にゅーすで見る調布｢憲法ひろば｣の足跡＜第４集＞**

**このまちで普通に平和に暮らしたい**

**2022年3月1日発行**

**A４版横向き･204頁　頒価500円 送料84円**

**送付先住所を添えて事務局にお申し込み下さい**

**郵便振替00170-6-445473 加入者名：大野哲夫**

です。日本国憲法から天皇という言葉が無くなったら、完璧な憲法、平和憲法といえるのでは！（無記名）

　**◆戦後社会の「手のひら返し」**

　戦時中に戦争神経症の兵士が国府台陸軍病院に収容され、戦後も社会から隔離され隠されてきたことについては知っているつもりでした。けれども復員後に日本社会の「手のひら返し」に遭って精神が崩壊したＰＴＳＤについて思い及びませんでした。「近代家族」とか「昭和の家庭」と呼ばれた世帯の内実が「明るく楽しく幸せ」なものばかりでなかったことにシュクゼンとしています。慰問袋、日の丸、軍帽、銃弾、すべて展示や写真で見てきましたが、「実物」に触ったのは初めてです。触って、裏返して、材質、縫製、その取扱い方など、思うことが沢山ありました。ありがとうございました。

　（若葉町　むらき数子）

**◆白旗を掲げよう**

　白旗を掲げよう、という黒井さんの主張に共感します。ウクライナへの欧米からの武器供与には疑問を持ちます。解決のため、世界中の叡知を集められないものでしょうか。現下の戦争の後も、どれだけ多くのＰＴＳＤ兵が生まれることか。人間に進歩はないのか。

　　　　　　　（無記名）

**◆自分に恥じる**

　アメリカでベトナム戦争の帰還兵がＰＴＳＤに陥っているニュースを聞いても、日本兵にＰＴＳＤの症状に苦しんだ方がいらっしゃるとは、考えてみれば当たり前なのに、思い到らなかった自分に恥じる思い。気づかせてくれた今回の話は貴重でした。（無記名）

**◆隠した国こそ責められるべき**

　戦争、人と人とが殺し合うということは耐えられるものではない。人間の心を壊すということ。これはどこの国でもどんな人種でも同じなのだということがよく解りました。そして、それを国は隠すのだ。再び戦争をするために。戦争を起こした国の罪を認めないために。このことこそ責められるべきであり、訴えるべきだと思います。ＰＴＳＤの周囲の人々も、共に戦争で傷つき、洗脳されてしまったのです。決して責めることはできません。事実を認めず隠し続けるこの国の在り方こそ、憎み、変えていきたいです。　（無記名）

**◆教育は恐ろしい**

　国家の命令で戦争に行かされ、戦死し、帰還しても心を病み、民間人も沢山死んだ。自分で考えてもそれを選別することはできない時代だった。洗脳や教育は恐ろしい。自分で見極めなければならない。現在でも戦争は世界のどこかで突然起こったり、今なお力ですべて解決しようとする勢力がある。世界の民が平和で助け合う社会の到来こそ応援したい。　　（無記名）

**◆黒井さんの優しさが行動に**

　黒井さんの貴重なお話を聴くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。ホームビデオの中のお父様に必死に話しかける黒井さんの優しさが、今の黒井さんの行動につながっているんだと感じます。私も自分が正しいと思うことを少しでも行動に移したいと思いました。（無記名）

**◆兵士も戦争の犠牲者、被害者**

　兵士も戦争の犠牲者・被害者だと思う。日本は自国の加害行為、責任にフタをしてきたのではないだろうか。アジア諸国に対する加害への謝罪・賠償をすると同時に兵士へのケアもなされるべきだったのにしなかった。指導者である天皇・政府・軍幹部の戦争責任がうやむやにされてきた。兵士のケアというのは兵士を英雄視して讃えることではなく、精神的・身体的な医療ケア、生活の補償だ。そして社会復帰支援。社会でどう受け入れていくのかが大切だが、戦後日本社会は兵士たちの声に耳を傾けず「なかったこと」にしてきたのではないだろうか。兵士の方にも、罪悪感に苦しみ、沈黙せざるを得なかった面もあるのではないか。ご遺族の活動でも、知覧では特攻隊を賛美・美化して讃えていたり、また靖国神社のように国家として「英霊を顕彰」することには反対です。黒井さんのご活動はそうではなく、戦争の実態を伝え、戦争を起こしてはいけないというご信念の下でのご活動なので賛同します。私自身は軍隊（自衛隊）のない社会を目指したい。　　（匿名、府中市）

**◆女性の問題につながる**

　絶対にお母様は気づいていらしたと思います。「隣に寝ているひとが、何人の人を殺しているか」ということを想像したら、平気な女の人は（少なくともこれからは）いないと思います。子どもではなく連れ合い。発表できていたら、ここでも女性の問題とつながってくると思います。（無記名）

**◆憲法前文は人類の宝**

　黒井さんの講演、生の体験を聞かせていただいて、大変良かったです。特に最後に言われた決意は私の覚悟と全く同じです。理屈はありません。世界の平和を願って皇居を無血開城して！憲法の前文は人類の宝

**第１７６回**

**憲法ひろば**

**調布｢憲法ひろば｣例会のご案内**

第**203**号（２面）**2022年5月3日**

**発行:調布九条の会「憲法ひろば」**

**E-Mail：chofu9jou@yahoo.co.jp　WEBサイトhttp://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html**